

飛び出せ!! OKINAWA  みんなでグッジョブ運動

ヒト・モノ・企業のグッジョブ

沖縄の音

沖縄を飛び出し、県外や海外で認められているヒトやモノ・コト、企業のおふれるパワーをお届けします。



オーディオ機器の常識を覆した「知名御多出横(ちなオーディオ)」

リアルな音の再現に
こだわり続けて半世紀

斬新な音響技術で国内外から注目される県内唯一のオーディオメーカー、「知名オーディオ」。代表の知名宏師さんは高校卒業後、アメリカ人向けのオーディオ専門店に勤務する傍ら、五百キログラム超のレコードプレーヤーや七メートル超の巨大スピーカーを作るなど、ユニークな独自の発想を形にしてきました。そして、独立して会社を設立してからも、一貫して生演奏のリアルな音の再現にこだわり続けてきました。

平成二十一年四月には、世界初のオリジナルアンプとスピーカーを中心とした独自の技術で、正確な音源の再生に成功したと発表しました。

固定観念を打ち破る
世界初の画期的な製品

昭和五十五年に開発された世界初のパワーアンプは、国内トップメーカーに先駆ける画期的なものでした。通常、低音から高音まで作り出すために、オーディオは三つ以上のスピーカーをハンダ接続します。しかし知名さんは、このハン



自社工場ではアンプの土台からすべて手作業で組み立て



(有)知名御多出横(ちなオーディオ) 代表者 知名宏師さん

ダ接続こそが音のひずみの原因であることを明らかにし、ハンダを一切使わない電気溶接のパワーアンプを開発。それは、理論上は可能でも実現できないと思われていたことでした。

「多くの技術者が固定観念や知識に邪魔をされてやらないことを、僕はやってみただけ」と笑う知名さん。まずはやってみる。失敗しても成功するまで続ける。という大胆さ、不屈の精神が常識を覆す発想につながっています。開発のための道具や機械がなければ、自分で作るという徹底ぶりです。

国内外で支持・評価
される高い音響技術

平成七年に開発された全指向性スピーカーは、三六〇度方向に音を出す円筒形のスピーカーで、高音まで美しい臨場感のある音が部屋の隅々まで響くように再現できます。角

度によって高音が聞こえにくい」というお客様の悩みに応えようと工夫したことが開発のヒントになりました。

これまでに音響技術で七件の特許を取得し、昨年は知名オーディオが日本最大のクラシックの祭典「リ・フォルジュルネ・オ・ジャポン」

モノづくりが大好きな
知名誠さんを紹介します。

活躍する社員さん

社長の理論や技術を忠実に再現し、さらにファンを増やしたい。

知名御多出横(ちなオーディオ)
エンジニア 知名誠さん



自社工場でいねいにスピーカーの塗装を行う知名誠さん

子どもの頃からラジコンづくりなどモノづくりが好きでした。現在は主にアンプを担当。切り出しから、組み立て、電流の調整、塗装までを一括して行い、ミスを犯さないことを心がけています。手掛けた製品をお客様に楽しく使ってほしい、「いい音だね」と喜ばれることがやりがい。お客様とのふれあい、コミュニケーションを大切にしていきたい。

で採用されたほか、歴史ある音楽の国オーストリア大使館の来客用音響設備としても採用。国内の音楽関係者や世界のトップアーティストからも支持されています。

斬新な発想を成功へと導く秘訣を「まずは常識を疑うこと。そして行動すること」と話す知名さん。「今後はイベントなどで使用する音響機器でも最高の音を提供していきたい」と抱負を語っていました。



ノイズが少なくクリアな音が再現できる「全指向性スピーカー」

常識を超えた発想が
ポイントです。



「約五十年も業界で問題になっていた音のひずみやズレをトータルで解決した点が評価につながったと思う」と知名さん。知名オーディオは、音源をアンプやスピーカーで変えるのではなく、電子溶接されたアンプと一対の全指向性スピーカーだけで二十〜二十万Hz(ヘルツ)の音源を忠実に再現します。複雑化する世の中に逆行するシンプルな理論とフォルムも、その魅力のひとつなのかもしれません。



スイッチと音量ボリュームしかないシンプルなアンプ



テレビにもつなげられるスピーカーとアンプのセット